令和２年度

山形県立米沢栄養大学大学院

第三次学生募集要項

【健康栄養科学研究科（修士課程）】

山形県公立大学法人

山形県立米沢栄養大学

【目次】

１　募集人員 …… 1
２　出願資格・選抜区分等 …… 1
３　事前相談 …… 2
４　大学院設置基準に基づく授業時間などの特例措置 …… 2
５　出願資格審査 …… 2
６　選抜方法 …… 3
７　出願手続 …… 3
８　合格発表 …… 6
９　試験結果の開示 …… 6
１０　入学手続 …… 7
１１　研究指導に関わる教員の研究課題及び連絡先 …… 8
１２　その他 …… 9
１３　参考資料等 ……10

【入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

本大学院は、幅広く深い教養を有する管理栄養士もしくは栄養士であることを前提として、より高度な栄養に関する専門知識と技術について学び、研究を進めることから、管理栄養士養成課程修了程度の学力と意欲のある、次のような学生を求めています。

(1)　人間性豊かで、人との関わりを大切にできる人
(2)　栄養と健康に関わる基本的な学問領域の知識を有し、更に高度な知識、技術を学び、研究を推進する意欲のある人
(3)　本大学院で学んだことを生かし、地域と社会に貢献したいと考えている人

【入試の概要】

試験区分	募集人員	出願資格審査申請期間	審査結果通知	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
一般入試	若干名	令和元年 12 月 27 日（金） ～ 令和 2 年 1 月 10 日（金）	令和 2 年 1 月 17 日（金） 発送	令和 2 年 1 月 31 日（金） ～ 2 月 7 日（金）	令和 2 年 3 月 7 日（土）	令和 2 年 3 月 13 日（金）	令和 2 年 3 月 16 日（月） ～ 23 日（月）

【一般入学試験募集要項】

１　募集人員

専　攻　名	募 集 人 員
健康栄養科学専攻	若干名

２　出願資格・選抜区分等

(1)　一般選抜

本専攻の出願資格は、入学年度の４月１日時点において、次の各号に掲げる要件のいずれかに該当するものとし、かつ、栄養士法及び関係法令の定めるところによる栄養士免許を取得した者あるいは、その見込みがある者とします。

①　学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者
②　学校教育法第104条第４項の規定により学士の学位を授与された者
③　外国において、学校教育による16年の課程を修了した者
④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
⑤　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
⑥　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑦　文部科学大臣の指定した者（昭和28年２月文部省告示第５号）
⑧　大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で 22 歳に達したもの

(2)　社会人選抜

「社会人選抜」に出願できるものは、一般選抜の条件を満たし、かつ、入学年度の４月１日において、１年以上の栄養領域での実務経験を有する者を対象とします。

(3)　選抜区分

「一般選抜」と「社会人選抜」を行いますが、出題できるのはいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

(4)　専攻領域

出願に際しては、志望する分野の領域を選択することができます。

３　事前相談（必須）

出願を希望する者は、出願前に、指導を受けようとする教員（研究指導教員）と電話、E-mail 等で連絡を取り、必ず入学後の研究内容、授業時間、長期履修制度利用等について相談を行うとともに、出願書類の「研究（希望）説明書」を作成してください。

教員（研究指導教員）の連絡先等については、「１１　研究指導に関わる教員の研究課題及び連絡先」(p.8) を参照してください。

（注）令和２年度の一瀬白帝教授及び髙橋和昭教授（基礎健康栄養科学領域）の特別研究は開講されません。

ただし、公衆栄養学、医学（臨床医学・生理学）、生化学・分子生物学を専門とする教員が各１名（合計３名）来年度から新たに着任し、特別研究の指導（又は指導補助）を担当する予定です。

４　大学院設置基準に基づく授業時間などの特例措置

社会人が働きながら学べるよう、大学院設置基準第 14 条により、必要に応じ夜間や土曜日等に講義を行う特例措置を講じることができます。

なお、この特例の措置を希望する者は、「３　事前相談」の際に申し出てください。

５　出願資格審査

一般選抜出願資格⑧（社会人選抜で一般選抜出願資格⑧に該当する者を含む。）で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の審査を行いますので、(2)に掲げる提出書類を所定の封筒に入れ、郵送（簡易書留）又は持参により提出してください。

(1)　申請期間

令和元年 12 月 27 日（金）から令和２年１月 10 日（金）まで

※郵送の場合は、１月 10 日（金）午後５時必着とします。

持参する場合の受付時間は、午前９時から午後５時までとします。

(2)　提出書類

次の書類を本学総務企画課まで提出してください（提出書類は返還しません）。

①出願資格認定審査申請書

②卒業証明書（最終卒業学校分）

③成績証明書（最終卒業学校長が作成し、厳封したもの）

④研究歴等調書（論文別刷等を添付可）

⑤認定審査結果通知郵送料（404 円分（簡易書留分含む）の郵便切手）

＜書類提出先＞

山形県立米沢栄養大学　総務企画課

〒992-0025　山形県米沢市通町六丁目 15 番１号

(3)　審査結果の通知

出願資格の審査結果は、令和２年１月 17 日（金）に本人あてに郵送します。
なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

６　選抜方法

入学者の選抜は、専門試験、英語試験及び面接の成績並びに出願書類等の内容を総合して行います。

(1)　試験日程及び会場

日　　時		試験科目	試験会場
令和２年３月７日（土）	10:00～12:00	専　門	本　学
		英　語	
	13:00～15:00	面　接	

※面接の開始時刻及び終了時刻は予定です。

(2)　試験内容

試験科目	試験内容	試験時間	配点	
			一般選抜	社会人選抜
専　門	栄養領域全般に関する専門知識を問う記述試験	120 分	30 点	30 点
英　語	栄養領域に関連する英文の内容把握についての試験		20 点	10 点
面　接	提出された研究(希望)説明書の内容を主とした口述試験	１人 20 分程度	50 点	60 点

※専門試験は、生化学、食品学、公衆衛生学、基礎栄養学、応用栄養学、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論、調理学からの出題とします。

(3)　受験上の注意

① 受験者は、試験開始時刻の 30 分前までに指定された試験室に入室してください。
② 試験時間中に机の上に置けるものは、本学受験票と筆記用具（鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム）のみとします。なお、辞書等の持ち込みは不可とします。
③ 指定している試験科目を１つでも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
④ 試験会場では上履きが必要です。また、下足を入れるための袋を準備してください。
⑤ 昼食を持参してください。
⑥ 受験者の宿舎のあっ旋等は行いません。
⑦ その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に通知します。

7　出願手続

(1)　出願期間

令和２年１月 31 日（金）から２月７日（金）まで

(2)　出願方法

所定の出願用紙、封筒を用いて提出してください。

・郵送する場合２月７日（金）午後５時必着

・持参する場合　受付時間：午前９時から午後５時まで

（ただし、土曜日、日曜日を除く）

※出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しませんので、郵送に要する期間を十分考慮して出願してください。

(3)　出願書類提出先

山形県立米沢栄養大学　総務企画課

〒992-0025　山形県米沢市通町六丁目 15 番１号

(4)　出願書類

出願書類等	選抜区分		書類作成上の注意点等
	一般	社会人	
【Ａ票】入学志願書	◎	◎	①「記入上の注意」を参照のうえ、必要事項をすべて記入してください。 ②文字はかい書で丁寧に、特に算用数字は、記入見本の字体で記入してください。また、記入した内容を訂正する場合は、二重線で消し、余白に正しく記入し直してください。 ③裏面も忘れずに記入してください。
【Ｂ票】写真票 【Ｃ票】受験票	◎	◎	①太枠内に氏名及び生年月日を記入してください。 ②縦４ｃｍ×横３ｃｍ写真（上半身無帽正面向、背景なし、出願前３か月以内撮影のもの）の裏面に氏名及び生年月日を記入し、写真貼付欄にはがれないようにのり付けしてください。なお、「写真票」と「受験票」には同じ写真を使用してください。 ③「写真票」と「受験票」は切り離さずに提出してください。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書※	◎	◎	出身大学の長又は出願資格に該当する出身学校長が作成した書類を提出してください。
学士の学位授与（見込）証明書等	○	○	一般選抜出願資格②で出願する者は提出してください。 学位授与機構が発行する学士の学位授与（申請受理）証明書もしくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書を提出してください。
成績証明書又は単位取得(見込)証明書※	◎	◎	大学等の長が作成し、厳封したものを提出してください。本書類には、既に修得した（もしくは修得見込みの）科目と単位数が記載されていることが必要です。３か月以内に発行されたものとします。
履歴書	◎	◎	必要事項を漏れなく記載してください。
研究（希望）説明書	◎	◎	必要事項を漏れなく記載してください。
研究歴等調書	◎	◎	出願資格審査の際に提出された場合は、出願時に改めて提出する必要はありません。
入学考査料	◎	◎	①所定の「振込依頼書」に必要事項を記入のうえ、金融機関（ゆうちょ銀行を除く）で**入学考査料 30,000 円**を振り込んでください。 ②金融機関の領収印のある「振込金通知書」を「写真票」裏面の貼付欄に貼付してください
受験票送付用封筒	◎	◎	「受験票」送付用として使用します。本学所定の封筒に郵便番号、受験票送付先の住所、志願者氏名を明記し、374 円分（速達料含む）の切手を貼付してください。
出願書類提出用封筒	◎	◎	上記の出願書類を封入し、提出してください。 なお、**必要な書類のすべてが整っていない場合には受理できませんので、出願の際は十分に確認してください。** また、郵送の場合は簡易書留郵便（速達）としてください。

※◎印は必須、○印は該当者のみ提出する書類です。
※廃校、被災、その他の事情により出身校の証明書類等が得られない場合は、令和２年１月 24 日（金）までに連絡し、相談してください。

(5)　出願上の注意

①　出願受付後の出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに連絡してください。

②　出願受付後の出願書類及び入学考査料の返還は行いません。ただし、入学考査料を納入後、出願手続を行わなかった場合は返還しますので、お問い合わせください。

③　令和２年２月 28 日（金）までに受験票が到着しない場合は、お問い合わせください。

(6)　身体に障がい等のある入学志願者の事前相談

身体に障がい等のある志願者で、受験上特別な配慮を希望する者は、令和２年１月 24 日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式は自由）に医師の診断書又は身体障害者手帳の写しを添えて提出してください。なお、必要に応じて、志願者又はその者の立場を代弁し得る者（出身学校関係者等）との面接等を行う場合があります。

①記載事項

ア　入学志願者の氏名、住所及び電話番号

イ　障がい等の種類、程度

ウ　受験上特別な配慮を希望する事項

エ　出身学校等でとられていた特別措置

②提出先

山形県立米沢栄養大学　総務企画課

〒992-0025　山形県米沢市通町六丁目 15 番 1 号

8　合格発表

(1)　発表期日

令和２年３月 13 日（金）　午後１時

(2)　発表方法

山形県公立大学法人掲示板（山形県立米沢女子短期大学玄関前）に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。また、本学ホームページにも掲載します。

なお、電話、電子メール等による個別の問い合わせには一切応じません。

※本学が合格発表を電子メール、電報等で行うなどの予約サービスを実施することはありません。

9　試験結果の開示

受験者本人から申し出があった場合は、山形県公立大学法人個人情報保護規程に基づき試験結果を開示します。

(1)　**開示内容**　総合得点及び順位
(2)　**開示期間**　合格発表日から１か月間（ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く）
(3)　**受付時間**　午前９時から午後４時まで（ただし、合格発表日は午後１時から午後４時まで）
(4)　**開示場所**　山形県立米沢栄養大学　総務企画課
(5)　**必要書類**　受験票
(6)　**そ の 他**　受験者本人以外からの開示請求は受け付けません。
　　電話等での開示請求はできません。

１０　入学手続

本大学院への入学希望者は、下記期間内に所定の手続を行ってください。なお、期間内に手続きを完了しなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

入学手続に関する詳細は、合格通知書と一緒に郵送します。

(1)　入学手続期間

令和２年３月 16 日（月）から３月 23 日（月）まで

※郵送の場合は、３月 23 日（月）午後５時必着とします。

持参する場合の受付時間は、午前９時から午後５時までとします。

(2)　入学手続上の注意

①　入学手続期間を過ぎて到着したものは受理しません。郵送の場合は、郵送に要する期間を十分考慮して発送してください。

②　入学料の納入及び必要な書類がすべて整っていない場合は、受理することができません。書類を提出する際は、十分に確認してください。

③　本学が一度受理した入学料及び入学手続書類については返還しません。

(3)　初年度納入金

区　分		金　額	備　　考
入学料	県内者	282,000 円	入学手続時に納付してください。なお、県内者とは、本人又は本人の一親等の尊属が本人の入学の日の１年前から引き続き山形県の区域内に住所を有する者をいい、県外者とはその他の者をいいます。
	県外者	564,000 円	
授 業 料		535,800 円	入学後に、前期・後期の２回に分けて納付していただきます。
諸会費等		上記のほかに、保険料、教科書代、実習費等が必要となります。	

※奨学金については、日本学生支援機構等の奨学制度があります。

※教員の補助者（ティーチング・アシスタント）に報酬を支給する制度があります。

１１　研究指導に関わる教員の研究課題及び連絡先

【基礎健康栄養科学領域】

指導教員氏名・電話番号 E-mail アドレス	主な研究課題
一瀬　白帝 0238-93-2935 aichinos@yone.ac.jp	本県民の死亡原因の最上位を占める血栓症（脳・心筋梗塞など）とその基礎にある動脈硬化、脂質異常、肥満などの治療／予防に関わる臨床栄養学分野の課題を、遺伝子／タンパク質の分子レベルで解明する方法について研究指導を行う。
髙橋　和昭 0238-22-7326 k-takahashi@yone.ac.jp	腸管免疫機能及び腸管上皮細胞構造や細胞間結合などのバリア機能、そして、抗酸化機能などの生体防御機能調節に対する栄養及び非栄養素さらに腸管内の微生物叢の役割について遺伝子レベルでの研究指導を行う。
佐塚　正樹 0238-22-7379 sazuka@yone.ac.jp	食品栄養学の立場に立ち、地域的な問題にも取り組める研究能力の基礎を身に着けさせる。修士課程で修得した研究基礎能力は企業での研究開発や博士課程進学に欠かせない。特に本研究室ではラボレベルでの基礎科学研究能力の修得を一番の目的に研究指導を行う。
江口　智美 0238-22-7330 eguchi@yone.ac.jp	調理科学分野において、おいしさと健康のための食品機能改善を目指した研究実践能力を育成するため、特に食品物性とヒトの咀嚼性及び嗜好性の関係について解明するための実験法及び解析法について研究指導を行う。

【実践健康栄養科学領域】

指導教員氏名・電話番号 E-mail アドレス	主な研究課題
大和田　浩子 0238-93-2920 h.ohwada@yone.ac.jp	公衆栄養分野の実践現場において、地域の健康課題を抽出し、その関連要因を解明する実践能力を育成するため、特に障がい児・者等を対象とした健康課題の抽出法及び関連要因等の解析法について研究指導を行う。
大益　史弘 0238-93-2926 omasu@yone.ac.jp	予防に重点が置かれている公衆衛生学において、生活習慣病、母子保健、精神保健、環境衛生等をテーマとして、その一次予防的な研究課題を設定する。主に疫学的手法を用いて地域の健康課題に取り組むことを重視した研究指導を行う。
寒河江　豊昭 0238-22-7324 sagae@yone.ac.jp	臨床栄養分野における新たな栄養量の設定方法と指標（タンパク質量と非タンパクエネルギー量との比）の作成を目的として研究を進める。主に疾病の病期における栄養代謝を修得し臨床現場に対応した研究指導を行う。
金光　秀子 0238-93-2930 kanamitsu@yone.ac.jp	地域の高齢者及び高齢者福祉施設の現場において、高齢者の栄養管理に関する課題を抽出し、その関連要因を解明することによって、高齢者の栄養改善を目的とした研究指導を行う。

１２　その他

個人情報の取り扱いについて

本大学院の入学試験実施に伴い提出された氏名、生年月日、住所その他の個人情報は 、入学者選抜、入学手続、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上の目的のため利用し、これらの目的以外には使用しません。

１３　参考資料等

山形県公立大学法人山形県立米沢栄養大学大学院健康栄養科学研究科（修士課程）の概要

1　理　　念

本研究科は、健康栄養科学に関する高度な学術の理論及びその応用を教授研究することにより、学術研究を推進するとともに、基礎健康栄養科学領域又は実践健康栄養科学領域における指導的役割を果たす人材を育成し、教育と研究の成果に基づき、地域と社会に貢献することにより、県民の健康で豊かな暮らしの実現に寄与することを目指します。

2　学生定員

健康栄養科学専攻　入学定員　３人　　収容定員　６人

3　標準修業年限

２年（※在学年限は４年を超えることはできません。）

4　長期履修制度

職業を有していたり、介護・育児に関わっている等の事情により、標準修業年限（２年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

5　学　　位

健康栄養科学専攻　修士（健康栄養科学）

6　教育課程

(1)　教育課程編成の考え方

①　本研究科の教育課程は、教育研究上の理念とそれに基づく教育研究上の目的（人材の育成）を達成するため、「基礎科目」と「専門科目」の２つの基本的枠組みをもって、体系的に構成しています。

②　「基礎科目」群では、健康栄養科学とそれに密接する学問領域の概念と概略、研究の概念と方法論、地域課題や指導力を含む人との関わりについてグループワークやディスカッションを通して学びます。

③　「専門科目」群では、基礎健康栄養科学領域及び実践健康栄養科学領域の専門知識、専門技術をグループワークやディスカッションを通して学び、さらにインターンシップ等を活用しながら実践力を育成するとともに、研究を進め、修士論文を完成させます。

(2)　授業時間

平日は、学部の授業時間に準じ行われますが、仕事に就いたまま、学習できる環境を提供するため、大学院設置基準第 14 条による特例として、平日夜間（第６時限（18：00～19：30)、第７時限（19：40～21：10））の開講の他、必要に応じ土曜日などにおける授業及び夏季・冬季休業期間の集中講義を設けます。

(3) 教育課程の特色

本研究科の教育課程は、より専門性が高く、指導力のある実践的職業人、研究者、教育者を養成するために基礎的な素養と専門性を涵養するため、以下のような特色が有ります。

① 栄養・健康に関する高度な知識・技術を学び、専門性を修得するための教育課程

専門科目は、基礎健康栄養科学領域と実践健康栄養科学領域の２領域を設定し、基礎健康栄養科学領域では、分子・遺伝子レベルと食物に関する高度な栄養について学びます。

実践健康栄養科学領域では、高齢者や傷病者を対象とした栄養管理学とともに、より広い地域や集団を対象とした公衆栄養学を学びます。

② 「地域」について学ぶとともに人と関わる力（コミュニケーション力・指導力）を涵養するための教育課程

地域における栄養に関する活動を学ぶ科目を配置するとともに、その他の科目においても科目特性に応じた地域課題を取り上げ、地域の特性と地域課題についての理解を深めます。また、地域における栄養活動のリーダーから、リーダーシップについても学ぶとともに、コミュニケーション力涵養、経営マネジメント能力と指導力涵養の為の科目も配置しています。

③ 「実践力」を涵養する教育課程

実践力涵養のために、専門科目の各領域において、「特論Ⅰ・Ⅱ」に対応した「演習Ⅰ・Ⅱ」を配置するとともに、学外において、仕事の現場でより実践力を養うため「インターンシップＡ・Ｂ」を配置しています。

④ 学生の背景に配慮した教育課程

長らく教育の場から離れていた社会人、医療関係の仕事を希望する学生や社会経験のない学生を対象とした科目を配置しています。

(4) 履修指導及び研究指導

本研究科は、学生の希望を最優先にし研究領域を決定します。各研究領域においては、指導教員が、学生の経験、志向、能力などに十分配慮し履修指導、研究指導を行います。

(5) 履修要件

７の「授業科目」より、30 単位以上を履修するよう指導します。

（参照：履修モデル例）

(6) 修了の要件

本研究科の修了要件は、２年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、修士論文の審査及び試験に合格することとしています。

ただし、在学期間については、特に優れた研究業績を上げた者は、１年以上在学すれば足りるものとしています。

7　授業科目

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目		健康栄養科学概論	1前	2			○		
		健康栄養科学基礎演習	1前	1				○	
		医学医療論	1前		2		○		
		公衆衛生学特論	1前		1		○		
		研究方法論	1前	2			○		
		統計学基礎演習	1前		1			○	
		地域栄養活動論	1後	1			○		
		コミュニケーション論特論	1後	2			○		
		経営マネジメント論	2前		1		○		
		小計（9科目）	－	8	5	0	－		
専門科目	基礎健康栄養科学領域	基礎健康栄養科学特論Ⅰ（栄養生化学・分子病態栄養学分野）	1後		2		○		
		基礎健康栄養科学特論Ⅱ（食品栄養学・調理科学分野）	2前		2		○		
		基礎健康栄養科学演習Ⅰ	1後		1			○	
		基礎健康栄養科学演習Ⅱ	2前		1			○	
		インターンシップA	2前		3				○
		小計（5科目）	－	0	9	0	－		
	実践健康栄養科学領域	実践健康栄養科学特論Ⅰ（栄養管理学分野）	1後		2		○		
		実践健康栄養科学特論Ⅱ（公衆栄養学分野）	2前		2		○		
		実践健康栄養科学演習Ⅰ	1後		1			○	
		実践健康栄養科学演習Ⅱ	2前		1			○	
		インターンシップB	2前		3				○
		小計（5科目）	－	0	9	0	－		
	特別研究	特別研究	1・2通	10	0	0		○	
		小計（1科目）	－	10	0	0	－		
合計（20科目）			－	18	23	0	－		

大学院履修モデル

黄色下地　履修科目

（例1） 病院勤務志望の現役生

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	
				必修	選択
基礎科目		健康栄養科学概論	1・前	2	
		健康栄養科学基礎演習	1・前	1	
		医学医療論	1・前		2
		公衆衛生学特論	1・前		1
		研究方法論	1・前	2	
		統計学基礎演習	1・前		1
		地域栄養活動論	1・後	1	
		コミュニケーション論特論	1・後	2	
		経営マネジメント論	2・前		1
専門科目	基礎健康栄養科学領域	基礎健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		基礎健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		基礎健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		基礎健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップA	2・前		3
	実践健康栄養科学領域	実践健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		実践健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		実践健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		実践健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップB	2・前		3
	特別研究	特別研究	1～2・通年	10	
合　計				18	12
				30	

（例2） 研究職・教育職志望の現役生

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	
				必修	選択
基礎科目		健康栄養科学概論	1・前	2	
		健康栄養科学基礎演習	1・前	1	
		医学医療論	1・前		2
		公衆衛生学特論	1・前		1
		研究方法論	1・前	2	
		統計学基礎演習	1・前		1
		地域栄養活動論	1・後	1	
		コミュニケーション論特論	1・後	2	
		経営マネジメント論	2・前		1
専門科目	基礎健康栄養科学領域	基礎健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		基礎健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		基礎健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		基礎健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップA	2・前		3
	実践健康栄養科学領域	実践健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		実践健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		実践健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		実践健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップB	2・前		3
	特別研究	特別研究	1～2・通年	10	
合　計				18	12
				30	

（例3） 現職継続希望の社会人

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	
				必修	選択
基礎科目		健康栄養科学概論	1・前	2	
		健康栄養科学基礎演習	1・前	1	
		医学医療論	1・前		2
		公衆衛生学特論	1・前		1
		研究方法論	1・前	2	
		統計学基礎演習	1・前		1
		地域栄養活動論	1・後	1	
		コミュニケーション論特論	1・後	2	
		経営マネジメント論	2・前		1
専門科目	基礎健康栄養科学領域	基礎健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		基礎健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		基礎健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		基礎健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップA	2・前		3
	実践健康栄養科学領域	実践健康栄養科学特論Ⅰ	1・後		2
		実践健康栄養科学特論Ⅱ	2・前		2
		実践健康栄養科学演習Ⅰ	1・後		1
		実践健康栄養科学演習Ⅱ	2・前		1
		インターンシップB	2・前		3
	特別研究	特別研究	1～2・通年	10	
合　計				18	12
				30	

（例4） 長期履修（3年間）を希望する社会人学生
（例3と同じ科目を履修する場合；3年後期は特別研究に充てる）

科目区分		授業科目の名称	長期履修配当年次	本来の配当年次	単位数	
					必修	選択
基礎科目		健康栄養科学概論	1・前	1・前	2	
		健康栄養科学基礎演習	1・前	1・前	1	
		医学医療論		1・前		2
		公衆衛生学特論	2・前	1・前		1
		研究方法論	1・前	1・前	2	
		統計学基礎演習	2・前	1・前		1
		地域栄養活動論	2・後	1・後	1	
		コミュニケーション論特論	2・後	1・後	2	
		経営マネジメント論	3・前	2・前		1
専門科目	基礎健康栄養科学領域	基礎健康栄養科学特論Ⅰ		1・後		2
		基礎健康栄養科学特論Ⅱ	3・前	2・前		2
		基礎健康栄養科学演習Ⅰ		1・後		1
		基礎健康栄養科学演習Ⅱ	3・前	2・前		1
		インターンシップA		2・前		3
	実践健康栄養科学領域	実践健康栄養科学特論Ⅰ	1・後	1・後		2
		実践健康栄養科学特論Ⅱ	2・前	2・前		2
		実践健康栄養科学演習Ⅰ	1・後	1・後		1
		実践健康栄養科学演習Ⅱ	2・前	2・前		1
		インターンシップB		2・前		3
	特別研究	特別研究	1～3・通年	1～2・通年	10	
合　計					18	12
					30	

A票 黒色のボールペンで記入してください。

005

令和2年度　山形県立米沢栄養大学大学院
一般入学試験　入学志願書

〈数字記入見本〉 角をつけない　すきまを空ける　上に突き抜ける　角をつける　閉じる
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

●記入上の注意
1. 太枠内にはっきりと記入してください。
2. ※印欄には記入しないでください。
3. この用紙を汚したり、折り曲げたりしないでくださ
い。

入試区分	5 5	一般入学試験	受験番号	※
志望学科	2 1	健康栄養科学専攻	※	
会場区分	1	本　学		

志願者

氏名	フリガナ　注)フリガナと漢字欄は、姓と名の間を1文字空け、濁点(゛)、半濁点(゜)は同一枠内に記入してください。		性別 2 (1:男 2:女)
	ヨネザワ　ハナコ	生年月日(西暦)　注)誕生月・日が一桁の場合「01月01日」のようにゼロを入れてください。	1997年04月02日生
	漢　字		
	米沢　花子		
現住所	〒 992-0025		
	山形県米沢市通町六丁目15－1		
電話番号	自宅	0238-22-7330	
	携帯	090-1234-5678	

保護者等(緊急時連絡先)

氏名	フリガナ　注)フリガナと漢字欄は、姓と名の間を1文字空け、濁点(゛)、半濁点(゜)は同一枠内に記入してください。	志願者との関係	
	ヨネザワ　タロウ	01	②志願者との関係 01:父　02:母 03:祖父　04:祖母 05:配偶者　06:おじ 07:おば　08:兄 09:姉　10:弟 11:妹　99:その他
	漢　字	②コードを参照	
	米沢　太郎		
現住所	〒 992-0025		
	山形県米沢市通町六丁目15－1		
電話番号	0238-22-7330		

出身学校	出身高等学校等名称	学科名	卒業・卒業見込み　年月(西暦)	卒業区分
	山形県立○○高等学校	栄養科	2016年03月	1 (1:卒業 2:高専修了 3:高等学校卒業程度認定試験合格(大学入学資格検定合格を含む))
	出身大学・短大・専修学校等名称	学部・学科等名	卒業・卒業見込み　年月(西暦)	卒業区分
	山形県立米沢女子短期大学	健康栄養学科	2020年03月	1 (1:卒業(修了)見込 2:卒業(修了) 3:在学中(中退予定) 4:中退)

※裏面も記入してください。

※記入しないでください

※

栄養士資格に関し、該当する欄にチェックをつけ、取得（見込）年月を記入してください。

		取得（見込）年月
□	取得済み	西暦（　　年　　月）
□	取得見込	西暦（　　年　　月）

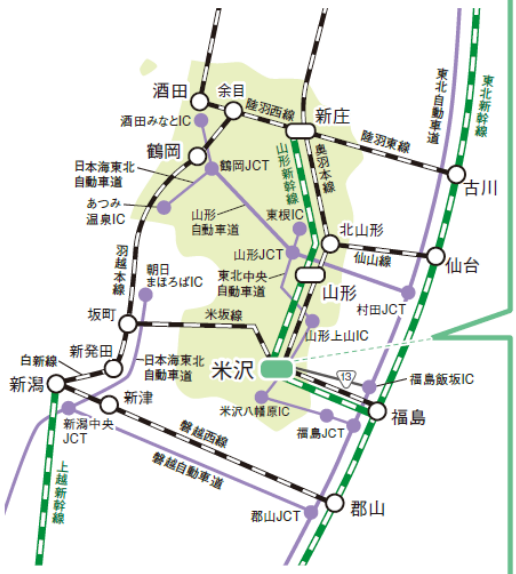
※本大学院の一般入学試験に出願するには、栄養士資格をすでに取得している、または、
本学入学時までに取得見込みである必要があります。（募集要項P1　2出願資格・選抜区分等 参照）

【同封している本学所定様式】

種　　別	数　量
①【A票】入学志願書	1
②【B票】写真票・【C票】受験票	1
③履歴書	1
④研究（希望）説明書	1
⑤研究歴等調書	1
⑥出願資格認定審査申請書	1
⑦振込依頼書（入学考査料）	1
⑧受験票送付用封筒	1
⑨出願書類提出用封筒	1

【会場案内図】

▶アクセス



●電車・バス利用の場合

東京駅[山形新幹線／約130分]
山形駅[奥 羽 本 線／約50分]
福島駅[奥 羽 本 線／約50分]
新潟駅[白新線・羽越本線・米坂線／約180分]
仙台駅[高 速 バ ス／約110分]
→ 米沢駅[バス(乗り場1・南回り)／約10分・自転車／約15分] → 米沢栄養大学
(バス停:栄養大・米短前)

●高速道路利用の場合

浦和IC[東北自動車道／約160分]
盛岡IC[東北自動車道／約160分]
→ 福島JCT[東北中央自動車道／約25分] → 米沢八幡原IC → 米沢栄養大学

【問い合わせ先】

山形県公立大学法人山形県立米沢栄養大学　総務企画課
〒992-0025　山形県米沢市通町六丁目 15 番 1 号
TEL:0238-22-7330（代表）　　FAX:0238-22-7333
URL: http://www.u.yone.ac.jp/　E-mail:jimu@yone.ac.jp